

令和8年8月7日

宮津市特別栄誉賞受賞者「尾崎邑鵬」氏の作品の寄贈

平成30年に宮津市特別栄誉賞を受賞された故尾崎邑鵬氏の作品について、尾崎氏が創設された由源社 会長の尾崎司邑氏（御子息）から、書道作品の寄贈を受けました。

寄贈作品は、尾崎氏が上宮津地区出身であることから上宮津地区公民館へ展示することとして、感謝状を進呈する寄贈式を行います。当日の模様について取材をお願いいたします。

日 時

8月19日（水）10時00分

場 所

上宮津地区公民館（宮津市字小田）

寄贈式

- ・感謝状の進呈（尾崎司邑氏の代理 岩瀬佑子氏）
- ・お礼の言葉（宮津市教育委員会 教育長 山本雅弘）

寄贈作品

- ・書道作品 2点

※（有）由源社について

1965年 大阪市に設立。書道家・尾崎邑鵬氏を主宰とする書道研究会。

【担当者のコメント】

尾崎邑鵬氏は大正13年に宮津市小田で生まれ、宮津市特別栄誉賞の他にも、平成28年に文化功労者顕彰、令和5年に旭日中綬章（芸術文化功労）を受賞されており、書道の振興に大きく貢献されました。より多くの市民の皆様に、その功績を知っていただきたいです。

《 尾崎 邑鵬 氏 略歴 》

- 1924(大正 13)年 1 月 5 日宮津市字小田(辛皮)に生まれる。本名・敏一。
上宮津尋常高等小学校高等科卒業後、農業に従事。
- 1945(昭和 20)年 宮津市青年学校研究科修了。上宮津農業協同組合に勤務。
- 1946(昭和 21)年 広津雲仙先生に師事し、通信教授を受ける。
- 1951(昭和 26)年 書道の本格的な勉強のため大阪へ。松坂屋に勤務。
- 1954(昭和 29)年 辻本史邑先生に師事し、松坂屋で開かれていた文化教室に通う。
- 1955(昭和 30)年 日本書芸院展で特別賞一席。日展初入選。
- 1957(昭和 32)年 関西総合展で関展賞一席。
- 1963(昭和 38)年 日本書芸院理事、審査員。日展特選。
- 1965(昭和 40)年 書道研究「由源社」創設。書道研究誌「由源」を発行。
- 1966(昭和 41)年 毎日書道展で準大賞受賞。
- 1970(昭和 45)年 日展で菊華賞受賞。
- 1972(昭和 47)年 日展審査員（昭和 53,59 年、平成元,5,7,9,11,13,15 年も同審査員）
- 1975(昭和 50)年 中国訪問以降、東南アジア、インド、ネパール、トルコ、フランス、イギリス、ギリシャ、エジプトの古跡や有名博物館を訪ねて、美術を探究。
- 1983(昭和 58)年 大阪府文化功労者顕彰受賞。読売日本書法展で大賞受賞。
- 1986(昭和 61)年 日展文部大臣賞受賞。日展評議員。
- 1988(昭和 63)年 宮津市へ掛け軸一幅「漢詩墨書」を寄贈。
- 1993(平成 5)年 日本芸術院賞受賞。尾崎邑鵬書展を開催(於;宮津市前尾記念文庫)
- 1994(平成 6)年 宮津市へ市政 40 周年記念として書道作品「優 躍 創」を寄贈。
- 1997(平成 9)年 勲四等旭日小綬章受章。日本書芸院理事長。
- 2015(平成 27)年 上宮津小学校閉校記念碑「学びの郷」建立。
- 2016(平成 28)年 文化功労者顕彰受章。
- 2018(平成 30)年 宮津市特別栄誉賞受賞。
- 2023(令和 5)年 旭日中綬章（芸術文化功労）受章。
- 2024(令和 6)年 10 月 11 日、100 歳で逝去。
- 2025(令和 7)年 11 月に市立図書館へ書道作品 2 点と図書 6 冊を寄贈